

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第6回武蔵村山市まちづくり基本方針策定委員会
開 催 日 時	令和4年9月30日（金） 午前10時から午前11時10分まで
開 催 場 所	さくらホール展示室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：大沢委員長、岡村副委員長、青木委員、栗原委員、国井委員、 大竹委員、永田委員、町田委員、名越委員、高橋委員、 檜山委員、白濱委員、大野委員 事務局：都市計画課長、同課係長（計画係）、同課主事（計画係） 欠席者：荒幡委員、圓地委員、名取委員、樋渡委員
報 告 事 項	(1) 第5回策定委員会の意見対応について
議 題	(1) 武蔵村山市まちづくり基本方針（素案）について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	報告事項（1）について 資料1に基づき報告。  議題（1）について <b>【検討】</b> ・地域別構想の市民アンケート調査への回答者数の表記を検討する。 ・P19 空き家や農業従事者について、課題への記載を検討する。 ・P20 シェアサイクルについて、課題への記載を検討する。 ・イラストについて内容を修正・検討する。 ・P75 地域別構想の構成に重点テーマの記載を検討する。 ・P116 協働まちづくりの図に若年層の市民の役割について記載を検討する。  議題（2）について ・10月7日（月）から11月7日（月）までパブリックコメントを予定している。 ・10月14日（金）、15日（土）に住民説明会を予定している。 ・パブリックコメント期間中に東京都との協議を予定している。 ・次回策定委員会は令和4年11月に開催予定（日時は後日通知）。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<b>【報告事項（1）】</b> 特になし。  <b>【議題（1）】</b> ◎ 資料編は本編の最後に入るのか。資料編には何が掲載されるのか。用語の解説や都市計画道路の名称の説明は入るのか。 ● 次回の策定委員会の際にお示しする。都市計画法に関する内容や、用

<p>[凡例]</p> <p>◎：委員長</p> <p>○：委員</p> <p>●：事務局</p>	<p>語の説明を入れる予定である。都市計画道路の名称に関しては、本編P54に示している。本編の脚注に関しても、資料編の用語説明に追加するか検討している。</p> <p>○ P77、P89、P103に地域ごとのアンケート結果の調査総数が分からないので、表記が必要かどうかも含めて検討してほしい。</p> <p>● 資料2 P22に全体のアンケート実施状況を記載し、配布数や回収数を示している。地域別構想のアンケート結果については、こちらの内容等を抜粋している。3つの地域は、町丁目界で分けているわけではないため、回答数を記載するのが難しい。</p> <p>◎ 割合を出しているので回答総数は出るはずである。注記を入れるなど工夫した上で記載したほうが良い。</p> <p>○ P74以降、東地域、中央地域、西地域について、具体的な方針を記載しているが、市の事業に抜け落ちはないと思うが、東京都の事業についても抜け落ちがないように確認すること。</p> <p>● 市の事業については、庁内で意見照会を行い所管課に確認している。東京都の事業で、北多摩北部建設事務所が所管の事業については、毎年1回所長との打合せにより確認をしている。本委員会にも各関係機関所属の委員もいらっしゃるので、もし抜けている事業等があればご教示いただきたい。また、東京都協議もパブリックコメント後に行う。</p> <p>○ 全体構想の構成は分かりやすくなった。しかし、全体構想の中で地域を3区分する話が抜けているのではないか。地域別構想の前段には記載されているが、できれば全体構想にも記載してほしい。</p> <p>● P36に将来都市構造のイメージ図として、駅まちづくりについて記載しており、駅を中心に3つに区分する説明をしている。こちらのページで強調できるように修正する。</p> <p>○ P36の駅まちづくりの部分に、東地域、中央地域、西地域の地域名を示しても良いのではないか。</p> <p>● P5でも地域名を示している。最初に明記したつもりではあったが、記載について検討する。</p> <p>○ P19 少子高齢化の部分で医療、福祉について言及しているが、都市計画の視点としては、空き家の増加や農業従事者の減少について記載したほうが良いのではないか。</p> <p>P20 自動運転やシェアサイクルなど、新しい交通モードが増えてきているため、追加したほうが良いのではないか。なるべく都市計画に関わる分野を言及した方が良い。</p> <p>● 検討する。</p>
---------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○ 地域別構想について、イラストによって分かりやすくなっている。イラストの中に若者やファミリー層は確認できるが、シニア層が少ないためもう少し追加しても良いのではないかと。

また、イラストは左ページの重点テーマとセットで見るような構成だと思うが、イラストに文字や施設名を入れて、イラストだけで見せられるようにした方が良いのではないかと。

P 7 5 地域別構想の構成に、重点テーマが地域別構想の中でどのような役割なのか分かるように記載したほうが良いのではないかと。

● シニア層の追加は検討する。イラストに文字を乗せてごみごみしないように、番号を付けて左ページと連動させている。イラストの修正と合わせて、文字の記載について検討する。

P 7 5 地域別構想の構成に重点テーマを追加する。

◎ イラストは目が行きやすいので、広く意見をもらいながら、足りない箇所等あれば委員の皆様からご指摘いただきたい。

○ モノレールの車両が西地域と東地域には書かれているが、中央地域には書かれていない。すべての地域に入っていた方が良くと思う。パブリックコメントまでにイラストの修正は行うのか。

● パブリックコメントはこのイラストになるが、意見を踏まえながら引き続き修正をしていきたい。

◎ 最近ウォークアブルが話題なので、市民の方に道路を開放してイベントを行っているオープンカフェのようなイラストがあっても良い。多角的に見た意見を募集した方が良い。

◎ P 1 1 6 今回、15歳から19歳までの次の武蔵村山市を支える若い世代にアンケート調査を行い、意見を聞いたことはとても重要なことである。若手にまちづくりに参加してもらい、それをきっかけに大学等で一旦は市外に出ていったとしても、子育て世代になったタイミングで武蔵村山市に帰ってくるような流れが作れるように、小中高校生にまちづくりや武蔵村山の魅力が伝わる取組があると良い。高校での地理の必修化はまちづくりを考えるきっかけになる。地域を学ぶ時に本方針を使ってもらおうと良い。そういった意味で、まちづくりの担い手について若い人に絞った記載を追加しても良いのではないかと。

● 検討する。

#### 【議題（2）その他】

○ 前回お話しした近隣の建築物の外壁の件について、色が直っているが次はオレンジ色になった。建築物の色の基準はどうなっているのか。また、においや騒音については方針に記載しないのか。

- 外壁については、青梅街道以北の建物については色彩等をコントロールできるが、建築行政を持っていないこともあり、他の地域では厳しく指導できない状態である。そのため、市内全域の方針として記載するのは難しい。

騒音については、P 4 5 住工複合地区として、騒音対策の強化のため、敷地内緑化を促進する旨を記載している。なおに関しては、P 6 3 ににおいの原因となる空き家対策について記載している。具体的な場所が分かれば教えてほしい。

- 伊奈平地区でドクトレーナーをやっている家がある。

- 建物やにおいなどの規制について、周辺の地域住民でまちづくり条例を利用したまちづくりの提案制度を利用し、地域のルールを決める方法がある。法規制などもないため、市からは事業や場所の規制はできない。市で無料の法務相談を設けているのでこちらを利用していただく等が考えられる。まちづくり基本方針に具体的に書くことは難しい。

- 狭山丘陵の条例は、どこの条例になるのか。

- 市の条例である。

- 多摩都市モノレールの延伸等で土地利用を活性化していくとなると、あらかじめ景観に関する計画を作成しておくことが大切である。デザインコントロールについても検討していただければと思う。

- 今後のスケジュールは、資料 3 をご覧ください。本日いただいた意見を参考に修正を加えた資料を作成し、市長へ報告を行う。その後 10 月 7 日から 11 月 7 日まで 30 日間パブリックコメントを開催し、10 月 14 日、15 日に住民説明会を行う。市民の皆様への説明会と並行して東京都と協議を行う。パブリックコメント等の意見を踏まえて資料を修正し、最後に第 7 回策定委員会を開催させていただく。その後都市計画審議会で内容の説明（諮問・答申）を行う。

本日の議事録は、事務局にて案を作成したのち、皆様に郵送・メール等で御確認いただく予定である。

- 次回の委員会では案として確認する形となるのか。

- そうである。

- 次回第 7 回策定委員会では、委員の皆様にはこの 2 年間にわたり多数の議論をいただいたことを踏まえ、最後に抱負や今後の都市計画に対する期待など、御発言を賜りたいと思っている。

以上

会議の公開・ 非公開の別	■公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ( )
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

傍聴者：  0  人

会議録の開示・ 非開示の別	■開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： )
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

庶務担当課	都市整備部 都市計画課 計画係 (内線：272、274)
-------	------------------------------

(日本工業規格A列4番)